

2009年3月期 第3四半期 決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年3月期 第3四半期実績

業績ハイライト

海外たばこ事業におけるトップライン成長の継続に加えGallaherの連結等により、売上高、EBITDAは増収・増益となったものの、海外たばこ事業および食品事業におけるのれん償却開始により、営業利益以下は減益

(単位:億円)

	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	47,042	53,461	6,418 (13.6%増)
税抜売上高	19,089	22,203	3,113 (16.3%増)
EBITDA	4,862	5,413	551 (11.3%増)
営業利益	3,667	3,296	△ 371 (10.1%減)
経常利益	3,271	2,690	△ 580 (17.8%減)
四半期純利益	2,203	1,314	△ 888 (40.3%減)

【参考:のれんの償却影響を除く主要利益】

営業利益	3,680	4,101	420 (11.4%増)
経常利益	3,283	3,494	210 (6.4%増)
四半期純利益	2,216	2,119	△ 96 (4.4%減)

3



2009年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業

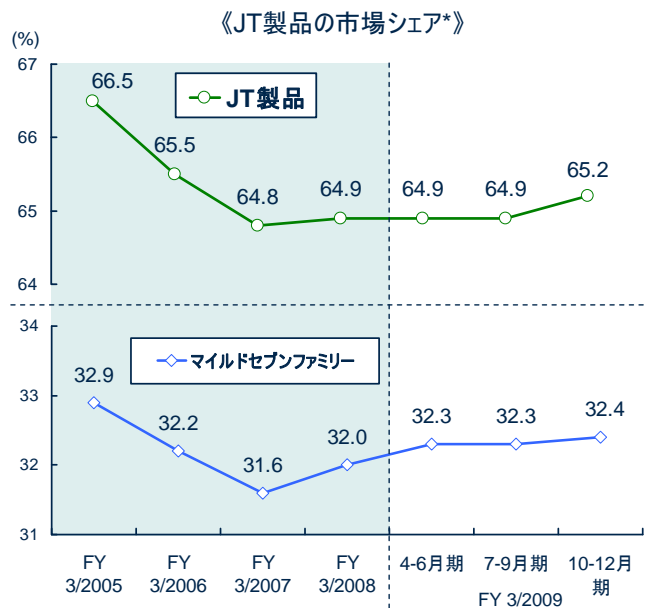
販売数量の減少に加え、販売促進費およびコストの増加等により、減収・減益

(単位:億円)

	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	25,948	24,781	△ 1,166 (4.5%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	5,509	5,268	△ 240 (4.4%減)
EBITDA	2,446	2,132	△ 314 (12.9%減)
営業利益	1,821	1,522	△ 299 (16.4%減)

(単位:億本)

JT販売数量	1,295	1,236	△ 58 (4.5%減)
国内総需要	1,996	1,902	△ 93 (4.7%減)
JT販売数量シェア(%)	64.9%	65.0%	0.1



* 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウインストン・セラム等)

4



2009年3月期 第3四半期実績

海外たばこ事業

GFBを中心としたトップライン成長の継続およびGallaherの連結等により、売上高、EBITDAは前年を大幅に上回る

(単位:億円)

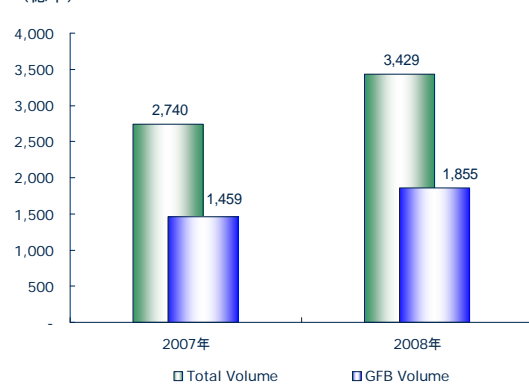
	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	18,253	24,569	6,315 (34.6%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	6,791	8,676	1,884 (27.8%増)
EBITDA (円ベース)	2,171	2,973	801 (36.9%増)
営業利益	1,740	1,705	△ 35 (2.0%減)

総販売数量(億本)	2,740	3,429	689 (25.2%増)
GFB販売数量(億本)	1,459	1,855	395 (27.1%増)
円ドルレート(円)	119.41	105.84	△ 13.57

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位:百万USドル)

EBITDA (ドルベース)	1,933	2,949	1,015 (52.5%増)
-------------------	-------	-------	-------------------

《1-9月期 販売数量実績》



【1-9月期 対ドル 主要通貨の実績】

	2007年 1-9月期実績	2008年 1-9月期実績	1-9月期 対前年比較
EUR/\$	0.74	0.66	11.7% ユーロ高
GBP/\$	0.50	0.51	2.1% ポンド安
RUB/\$	25.88	24.05	7.1% ルーブル高

Note: 海外たばこ事業実績は1-9月期を連結

5



海外たばこ事業の販売実績(速報) 2008年1-12月期 -比較可能ベース-

	2008年3月期*					2009年3月期				
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	Total	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	Total
総販売数量 (億本)	950	1,090	1,146	1,116	4,302	1,039 (+9.4%)	1,172 (+7.5%)	1,218 (+6.3%)	1,093 (-2.0%)	4,523 (+5.1%)
GFB販売数量 (億本)	467	551	576	573	2,166	556 (+19.1%)	635 (+15.4%)	663 (+15.2%)	600 (+4.8%)	2,455 (+13.3%)
税抜売上高** (百万USドル)	2,064	2,340	2,333	2,339	9,076	2,471 (+19.7%)	2,728 (+16.6%)	2,999 (+28.5%)	2,455 (+4.9%)	10,652 (+17.4%)
千本当税抜売上高** (USドル)	21.7	21.5	20.4	21.0	21.1	23.8 (+9.4%)	23.3 (+8.4%)	24.6 (+21.0%)	22.5 (+7.1%)	23.6 (+11.6%)
EBITDA (ロイヤリティー 支払い前) (百万USドル)	2,830					3,452 (+22.0%)				

【GFB販売実績*】

Winston	+13.8%
CAMEL	+10.3%
MILD SEVEN	+11.4%

【地域別販売実績*】



■ South & West Europe	+7.3%
■ North & Central Europe	-2.1%
■ CIS+	+3.2%
■ Rest of the World	+11.3%

* 2008年3月期(比較可能ベース): Gallaherの通年実績の理論値を含む

**物流事業を除いた売上高

6



2009年3月期 第3四半期実績

■ 医薬事業

メルク社との「JTT-305」の導出に伴う契約一時金収入およびロシュ社に導出した「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入等から、増収となり、利益面についても改善

(単位:億円)

	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	増減
売上高	397	481	83 (21.0%増)
EBITDA	△ 19	85	105 -
営業利益	△ 43	58	101 -

JTT-705: 導出先のロシュ社においてPhase3に移行
(2008年4月同社公表)

JTK-303: 導出先のギリアド・サイエンズ社においてPhase3に移行
(2008年7月同社公表)

JTT-305: メルク社へ導出することに関するライセンス契約を締結
(2008年9月公表)

臨床開発品目(2009年2月9日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内: Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内: Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外: Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2
JTT-651(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1
JTT-654(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase1
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外: Phase1

※前回(2008年10月30日)公表時からの変更点: JTT-654の国内臨床入り
JTT-552の開発中止

7



2009年3月期 第3四半期実績

■ 食品事業

加ト吉グループの連結等により増収となるも、営業損益は経費の増加、原材料価格の高騰、のれん償却の影響等により営業損失を計上

(単位:億円)

	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,277	3,477	1,200 (52.7%増)
EBITDA	90	57	△ 33 (36.4%減)
営業利益	56	△ 78	△ 134 -



8



2009年3月期 業績予想

■ 国内たばこ事業

販売数量見込の上方修正に伴い、売上高、利益面についても上方修正すると共に、2期連続シェアアップを目指す

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績(A)	2009年3月期 中間時見込(B)	2009年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	33,623	31,690	32,020	330 (1.0%増)	△ 1,603 (4.8%減)
税込売上高 (除く輸入たばこ)	21,692	20,520	20,630	110 (0.5%増)	△ 1,062 (4.9%減)
EBITDA	3,067	2,640	2,670	30 (1.1%増)	△ 397 (13.0%減)
営業利益	2,223	1,800	1,830	30 (1.7%増)	△ 393 (17.7%減)

【主な前提条件】

(単位: 億本)

JT製品販売数量	1,677	1,590	1,600	10 (0.6%増)	△ 77 (4.6%減)
----------	-------	-------	-------	---------------	-----------------

2009年3月期 業績予想

■ 海外たばこ事業

中間時見込どおりの順調な進捗

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績(A)	2009年3月期 中間時見込(B)	2009年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	26,399	31,550	31,180	△ 370 (1.2%減)	4,780 (18.1%増)
税込売上高 (除く物流事業)	23,810	28,220	27,870	△ 350 (1.2%減)	4,059 (17.0%増)
EBITDA (円ベース)	2,707	3,340	3,380	40 (1.2%増)	672 (24.8%増)
営業利益	2,053	1,690	1,740	50 (3.0%増)	△ 313 (15.3%減)

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前

(単位: 百万USドル)

EBITDA (ドルベース)	2,452	3,430	3,452	22 (0.6%増)	1,000 (40.8%増)
-------------------	-------	-------	-------	---------------	-------------------

【主な前提条件】

総販売数量(億本)	3,856	4,520	4,523	3 (0.1%増)	667 (17.3%増)
GFB販売数量(億本)	2,032	2,440	2,455	15 (0.6%増)	423 (20.8%増)
円ドルレート(円/USドル)	117.85	103.00	103.48	0.48	△ 14.37

(参考) 比較可能ベース

総販売数量(億本)	4,302	4,520	4,523	3 (0.1%増)	221 (5.1%増)
GFB販売数量(億本)	2,166	2,440	2,455	15 (0.6%増)	289 (13.3%増)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

2009年3月期 業績予想

■ 医薬事業

メルク社へ導出した「JTT-305」に関する追加収入等を織り込み、上方修正

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績(A)	2009年3月期 中間時見込(B)	2009年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	490	545	560	15 (2.8%増)	69 (14.1%増)
EBITDA	△ 62	10	30	20 (200.0%増)	92 -
営業利益	△ 96	△ 30	△ 10	20 -	86 -

■ 食品事業

昨今の急激な景気後退による消費低迷の影響を受け、冷凍加工食品および飲料事業の販売が伸び悩んでいることに加え、チルド加工食品事業からの撤退に伴い、関連する子会社を連結除外したこと等を織り込み、下方修正

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績*(A)	2009年3月期 中間時見込(B)	2009年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	3,364	4,780	4,420	△ 360 (7.5%減)	1,055 (31.4%増)
EBITDA	83	225	170	△ 55 (24.4%減)	86 (103.5%増)
営業利益	6	△ 70	△ 110	△ 40 -	△ 116 -

* 2008年3月期については、1月1日以降3月31日までの加ト吉の実績を連結

11



2009年3月期 業績予想

■ 連結業績予想

EBITDA、営業利益および経常利益を中間時見込から上方修正、売上高、EBITDAは過去最高の業績となる見込み

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績(A)	2009年3月期 中間時見込(B)	2009年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	64,097	68,700	68,300	△ 400 (0.6%減)	4,202 (6.6%増)
EBITDA	6,020	6,340	6,380	40 (0.6%増)	359 (6.0%増)
営業利益	4,305	3,480	3,550	70 (2.0%増)	△ 755 (17.5%減)
経常利益	3,626	2,900	3,020	120 (4.1%増)	△ 606 (16.7%減)
当期純利益	2,387	1,600	1,380	△ 220 (13.8%減)	△ 1,007 (42.2%減)
ROE(%)	11.8	9.3	8.4	△ 0.9	△ 3.4
FCF	△ 14,937	2,290	2,470	180	17,407

【参考: のれんの償却影響を除く当期純利益、配当性向、EPS】

当期純利益	2,425	2,640	2,430	△ 210 (8.0%減)	4 (0.2%増)
配当性向	19.0%	18.9%	20.5%	1.6%	1.5%
EPS	25,321円86銭	27,557円18銭	25,365円13銭	△2,192円05銭	43円27銭

Note: 2008年3月期については、4月18日以降12月31日までのGallagher、1月1日以降3月31日までの加ト吉の業績を連結

12



【参考資料】

2009年3月期 第3四半期実績 および 2009年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

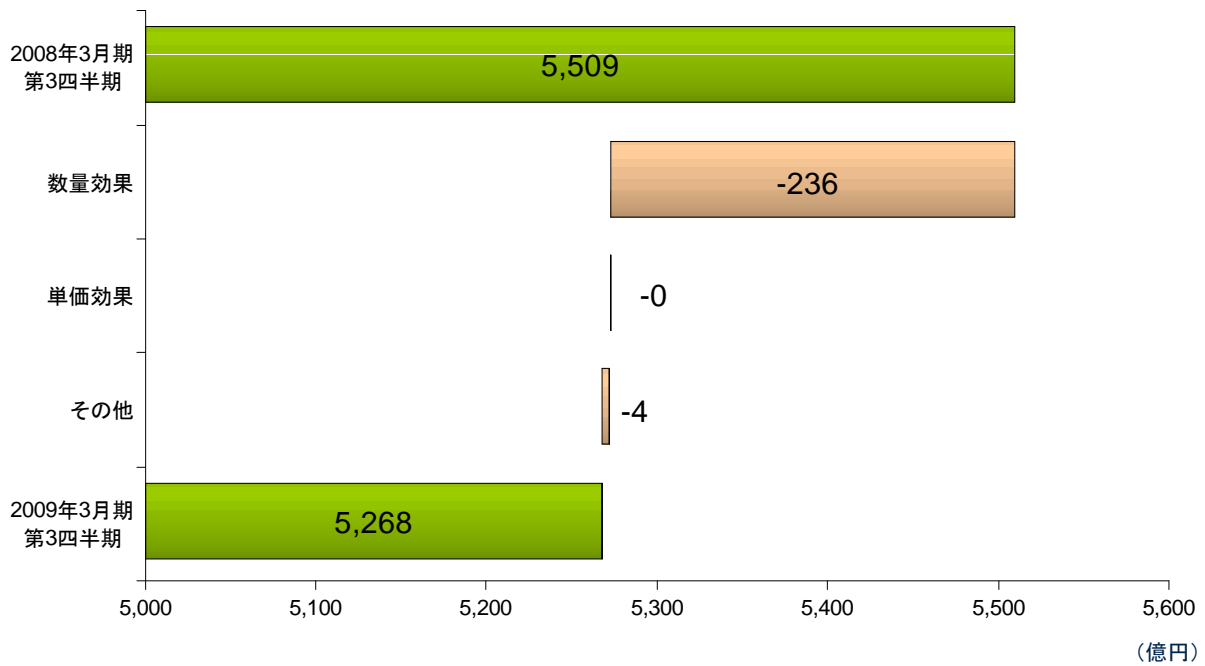
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年3月期 第3四半期 実績

国内たばこ事業 税売上高（輸入たばこを除く）

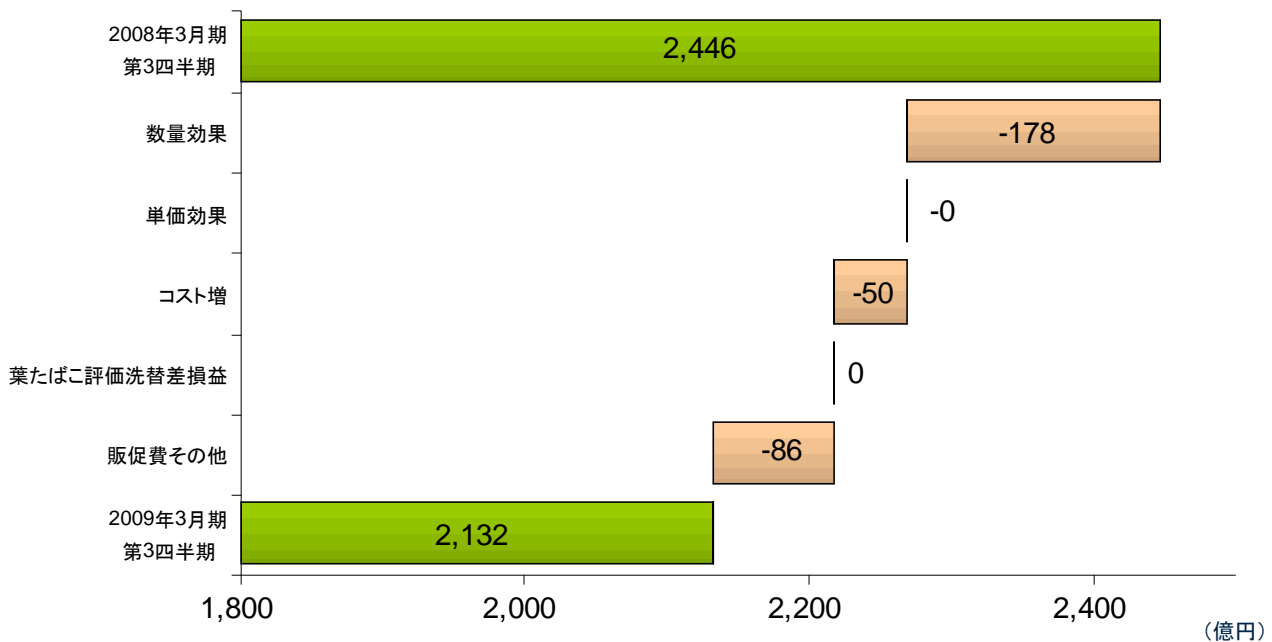


15



2009年3月期 第3四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

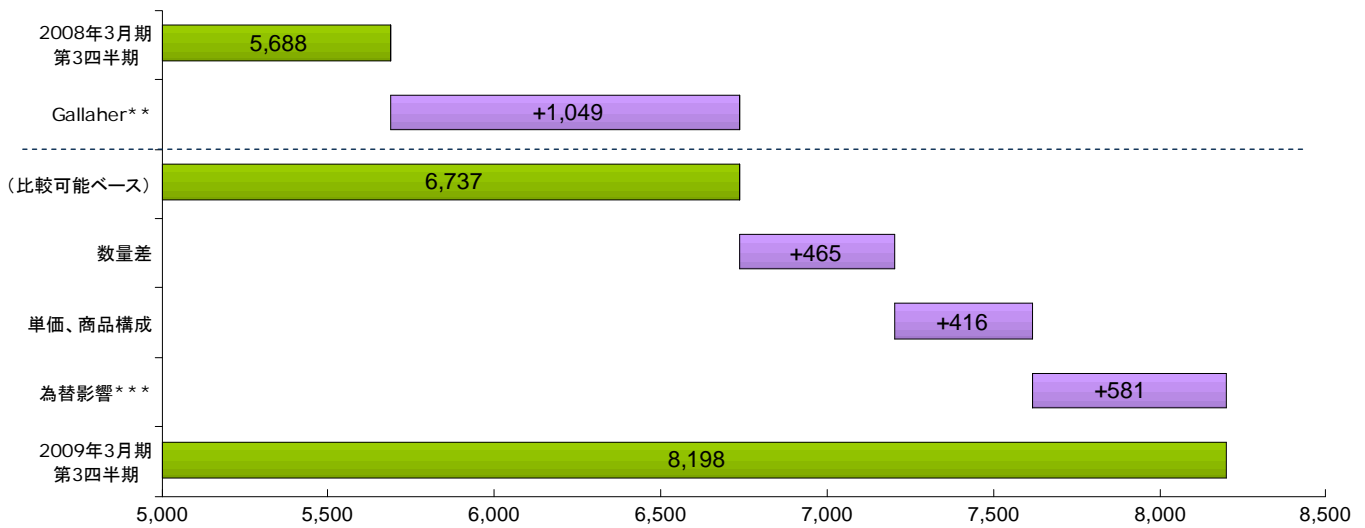


16



2009年3月期 第3四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高*



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高* 6,791億円 → 8,676億円 (1,884億円増)

(百万USD)

* Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く

** 統合前のGallaherの理論値

*** USDと各現地通貨との間の為替影響

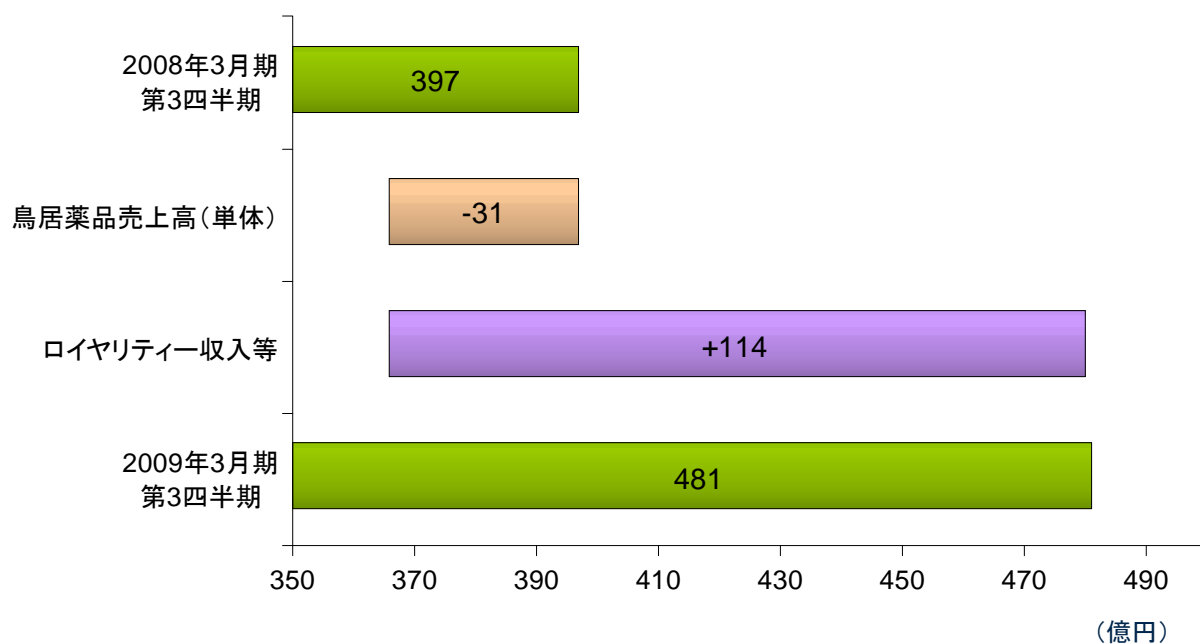


(このスライドは空白です)



2009年3月期 第3四半期 実績

■ 医薬事業 売上高

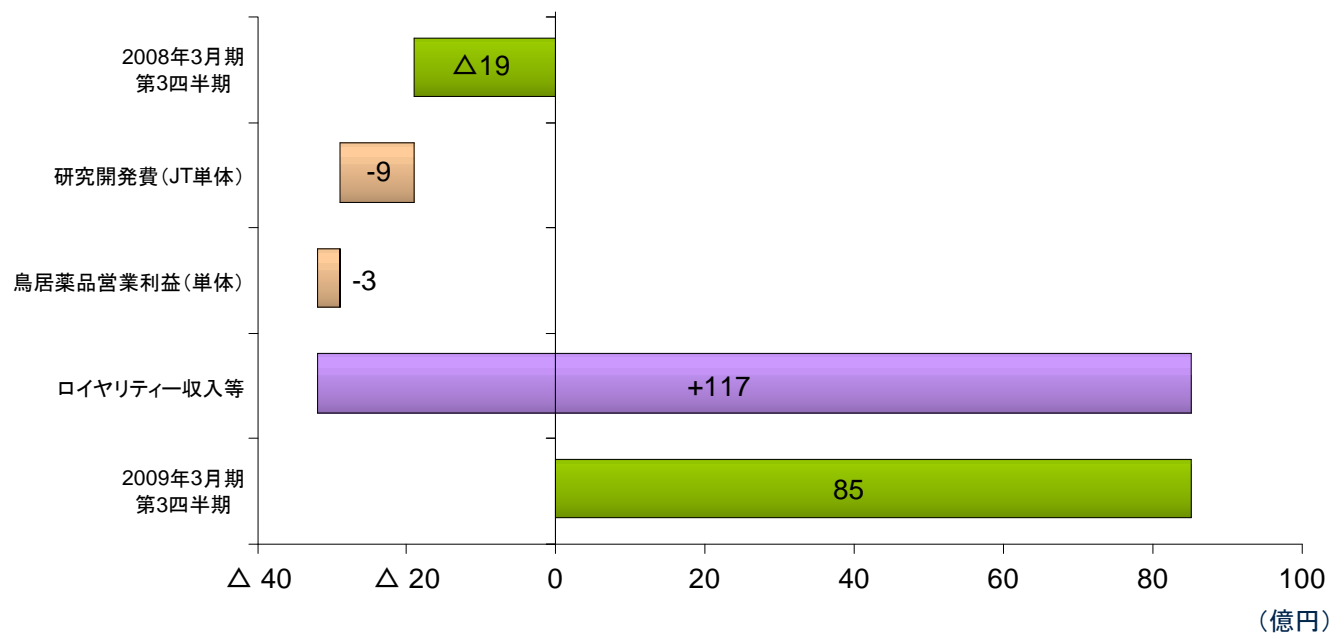


19



2009年3月期 第3四半期 実績

■ 医薬事業 EBITDA

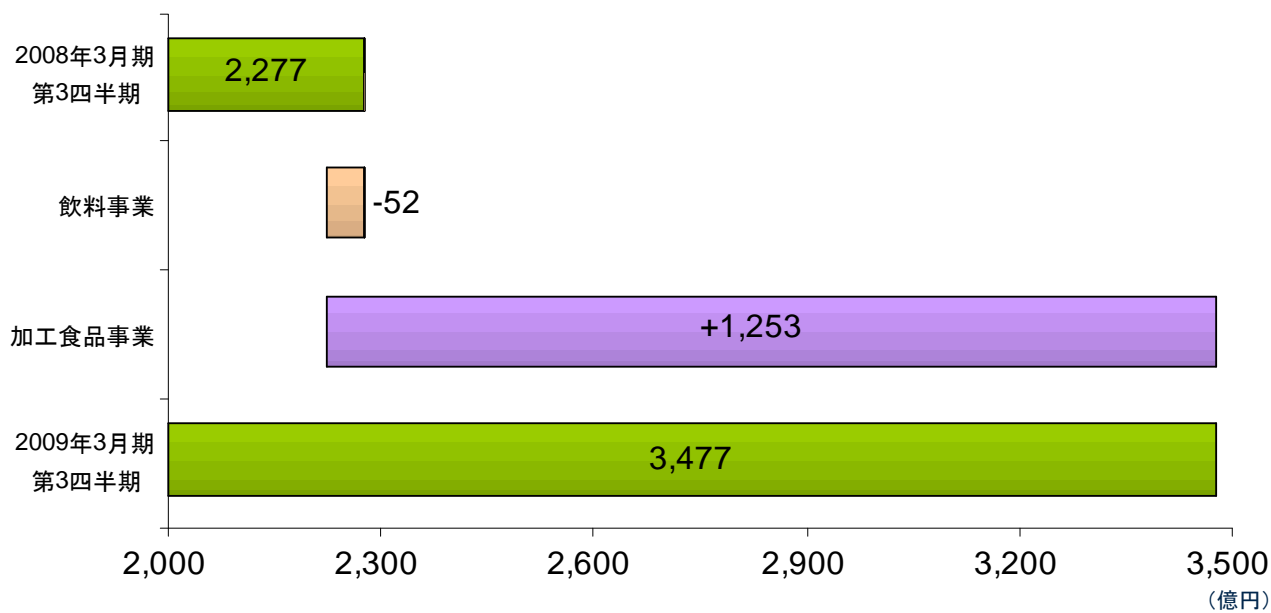


20



2009年3月期 第3四半期 実績

食品事業 売上高

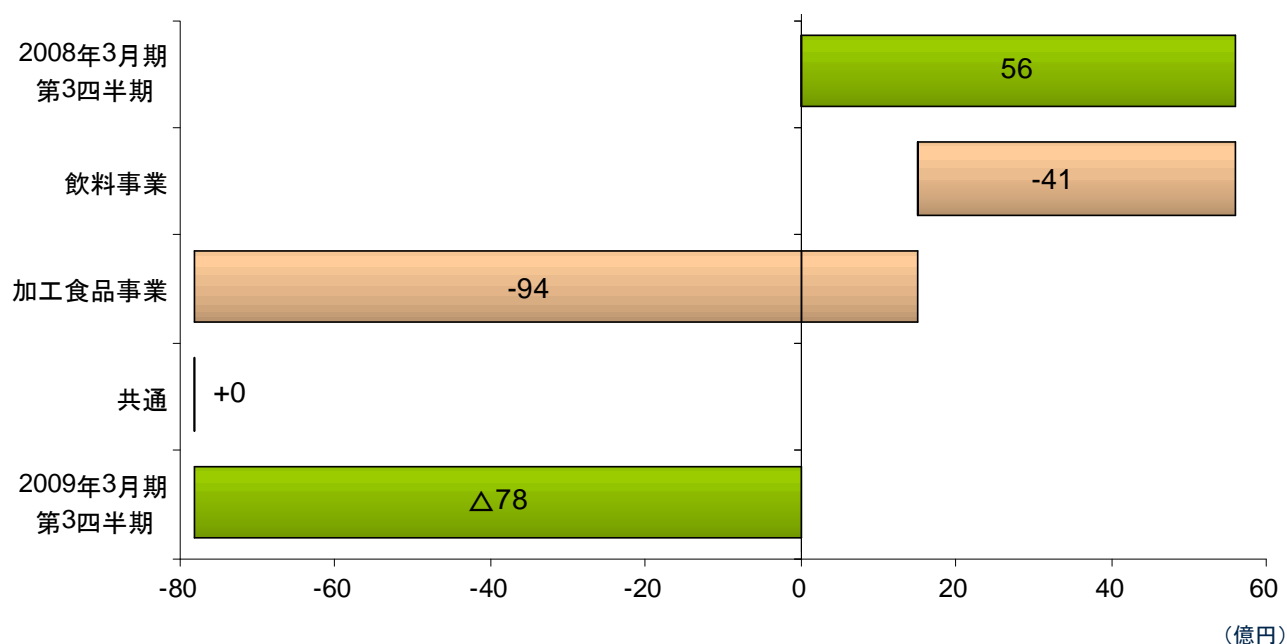


21



2009年3月期 第3四半期 実績

食品事業 営業利益

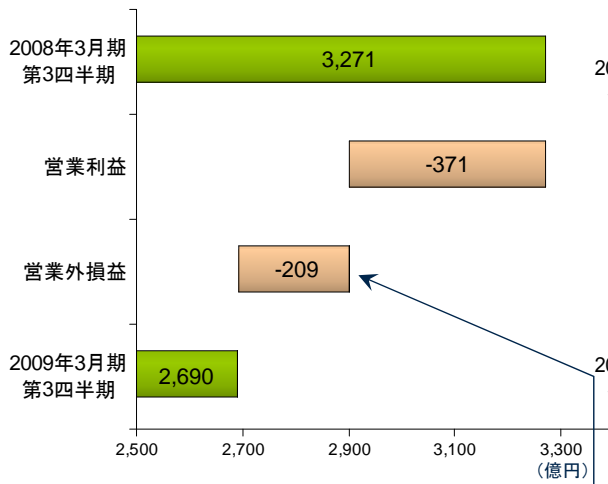


22



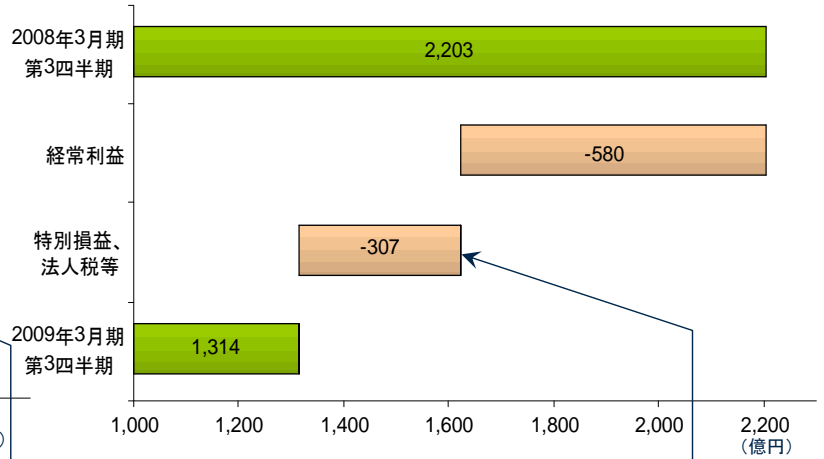
2009年3月期 第3四半期 実績

■ 経常利益



改善要因: たばこ災害援助金の減: 12億円 等
悪化要因: 為替差損の増: 155億円
 支払利息の増: 79億円
 受取利息の減: 49億円 等

■ 四半期純利益

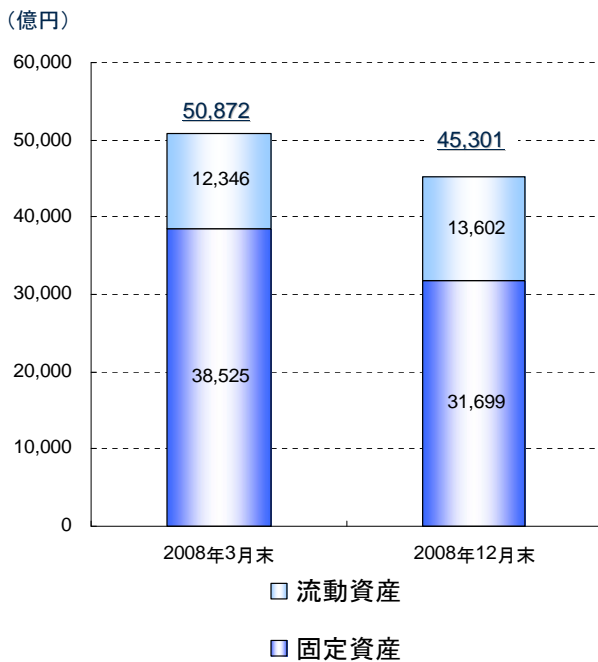


改善要因: 固定資産売却益の増: 16億円 等
悪化要因: 事業構造強化費用の増: 194億円
 減損損失の増: 95億円
 固定資産除却損の増: 35億円 等

(このスライドは空白です)

2009年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部



2008年3月末との比較

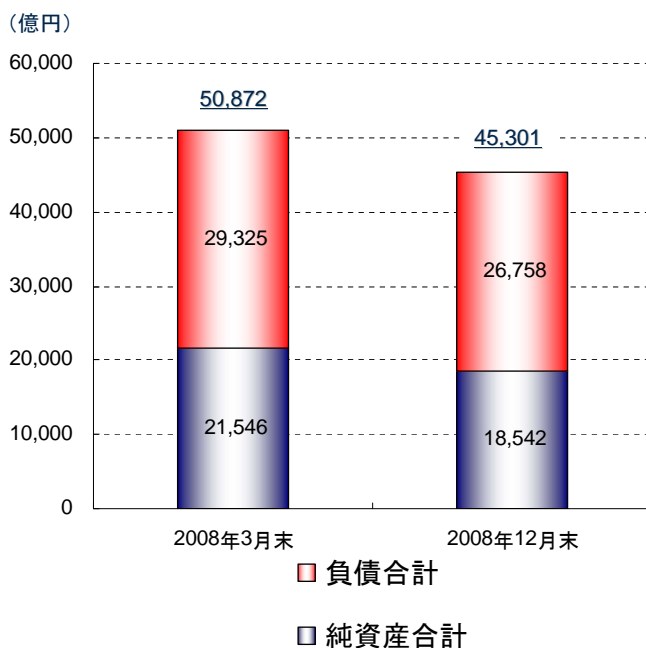
■ 流動資産は1,255億円増加

■ 固定資産は6,825億円減少

- ◆ のれんの減少 △4,379億円
- ◆ 商標権の減少 △1,336億円

2009年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部



2008年3月末との比較

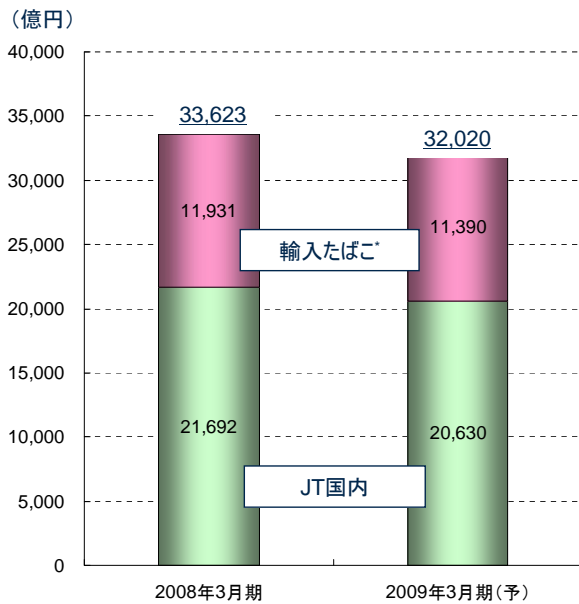
■ 負債合計は2,566億円減少

■ 純資産合計は3,003億円減少

- ◆ 利益剰余金の減少 △1,114億円
- ◆ 為替換算調整勘定のマイナス幅の拡大 △1,778億円
- 自己資本比率 40.8% → 39.3%

2009年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税込売上高



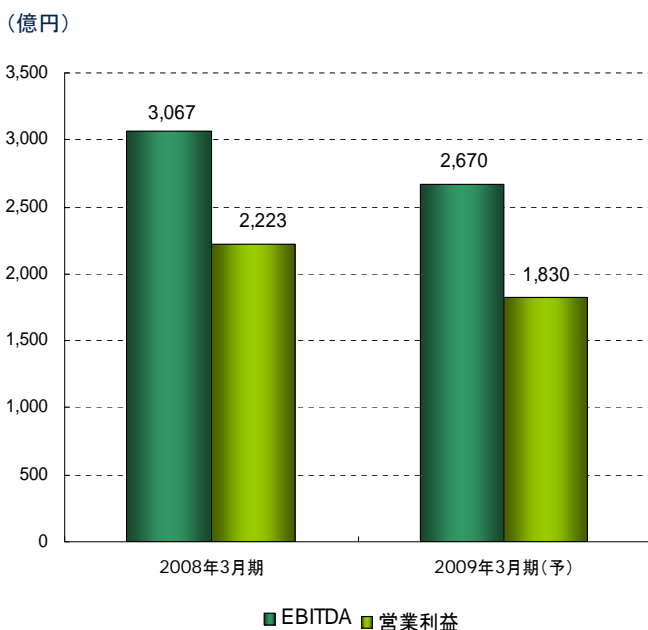
【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減
1,677億本 → 1,600億本: △77億本
- ・輸入たばこの減

Note: 連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含む

2009年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益

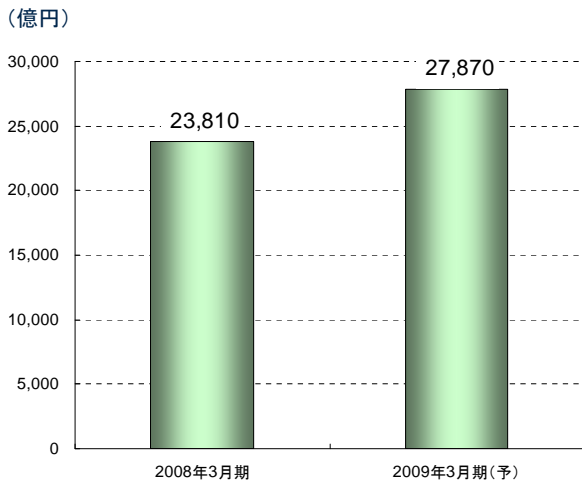


【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減(△77億本): 約240億円
- ・コスト増、その他: 約117億円
- ・taspoランニング費用: 約40億円

2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】

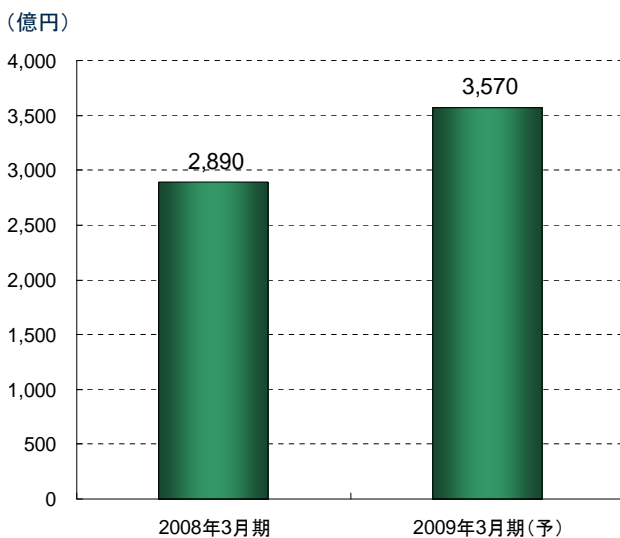
- ・GFBを中心としたトップライン成長
- ・Gallaherの連結が通期化

(参考) 連結円ドルレート 117.85円 → 103.48円 (14.37円 円高)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結
 Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結
 Note3: Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く

2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



【主な増加要因】

- ・GFBを中心としたトップライン成長
- ・Gallaherの連結が通期化

(参考) セグメント情報ベース

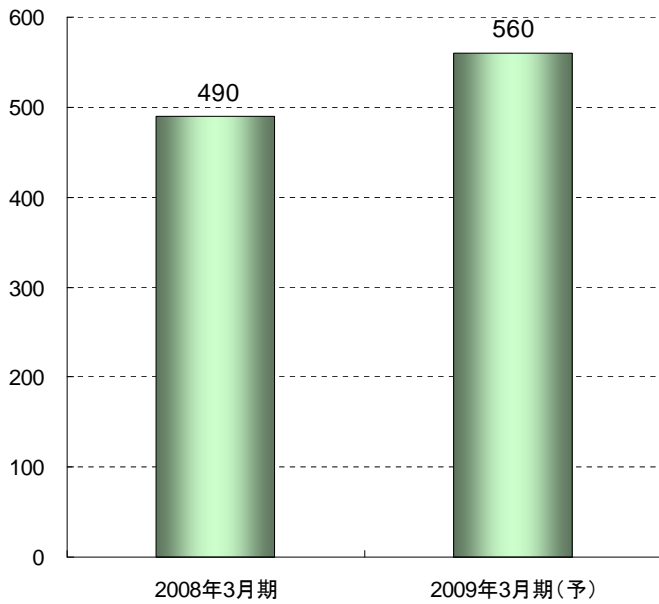
海外たばこ事業 EBITDA	2,707億円 → 3,380億円 (672億円増)
海外たばこ事業 営業利益	2,053億円 → 1,740億円 (313億円減)
連結円ドルレート	117.85円 → 103.48円 (14.37円 円高)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結
 Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 売上高

(億円)



【主な増加要因】

- ・「JTT-305」の導出に伴う契約一時金収入

【主な減少要因】

- ・鳥居薬品の売上高: 408億円→367億円 (△41億円)

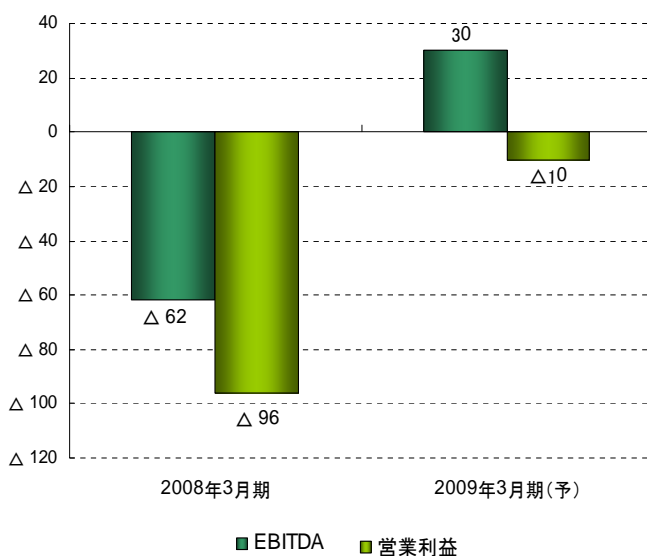
31



2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



【主な増加要因】

- ・「JTT-305」の導出に伴う契約一時金収入

【主な減少要因】

- ・研究開発費(単体)の増
- ・鳥居薬品の営業利益: 51億円→42億円 (△9億円)

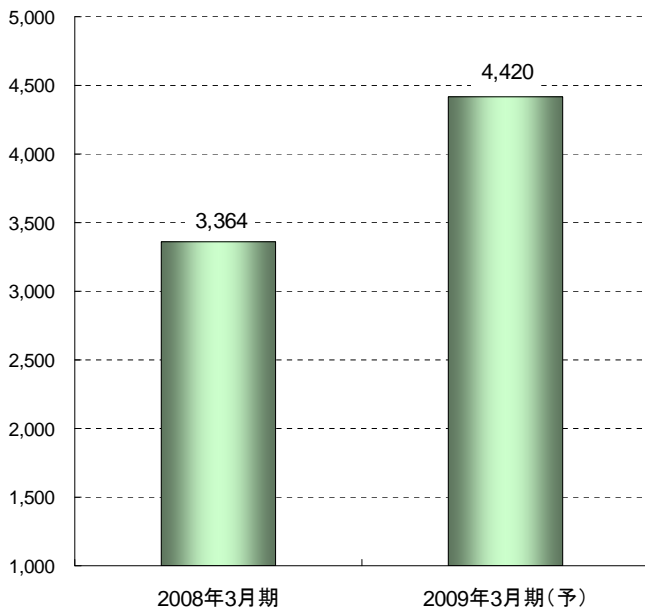
32



2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高

(億円)



【主な増加要因】

- ・加ト吉の通期化及び富士食品の新規連結

【主な減少要因】

- ・チルド加工食品の減
- ・旧JT冷凍加工食品事業の減
- ・競争激化及び消費低迷による飲料事業の減

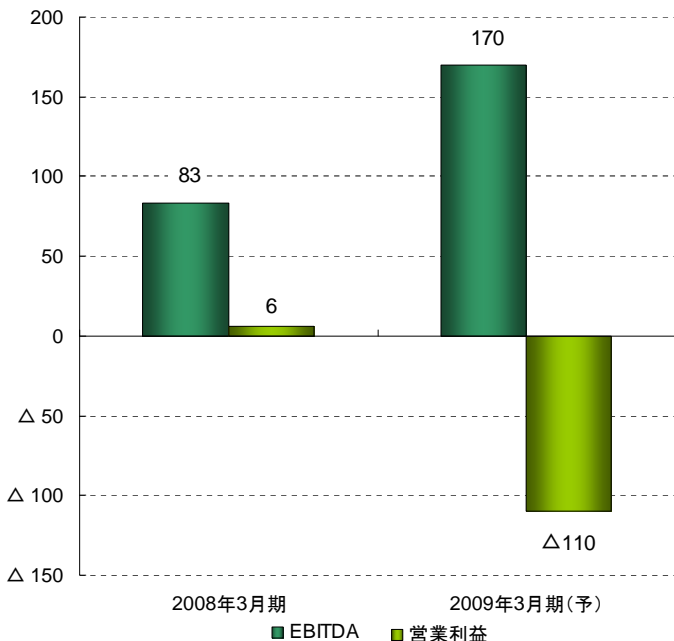
33



2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



【主な増加要因】

- ・加ト吉の連結が通期化
- ※EBITDA:リース会計処理の変更による償却費増

【営業利益の主な減少要因】

- ・のれん償却費の増加(加ト吉、富士食品)
- ・競争激化及び消費低迷による飲料事業の減
- ・旧JT冷凍加工食品事業の減

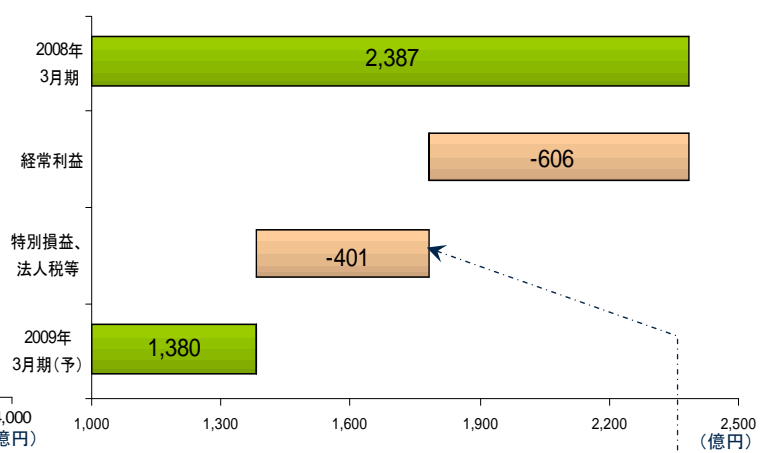
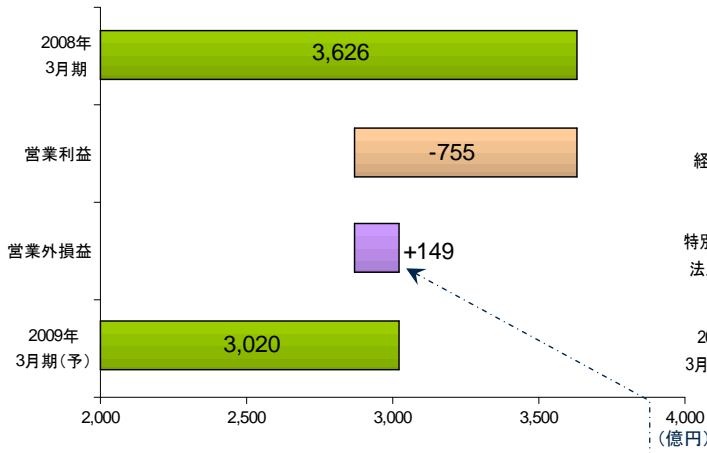
34



2009年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 経常利益

■ 当期純利益



改善要因: 為替差損の改善
(通貨オプション費用、ユーロ建て社債) 等

悪化要因: 支払利息の増加
(GLH買取に伴う、海外借入金利息の通期化影響) 等

悪化要因: 固定資産売却益の減少(大規模物件の売却件数減少)
事業構造強化費用の計上
減損損失の増加(旧社宅の取壊し) 等

2009年3月期 第3四半期 決算データ集(1)

1. 業績ハイライト

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
税込売上高	47,042	53,461	6,418
税抜売上高	19,089	22,203	3,113
EBITDA	4,862	5,413	551
営業利益	3,667	3,296	△ 371
経常利益	3,271	2,690	△ 580
四半期純利益	2,203	1,314	△ 888

(参考: のれんの償却影響を除く主要利益)

営業利益	3,680	4,101	420
経常利益	3,283	3,494	210
四半期純利益	2,216	2,119	△ 96

6. 主要投資案件の償却却費

(単位: 億円)

JT	07年12月期	08年12月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	220	220	10年	'09年4月
特許権	5	-	8年	'07年4月
加ト吉				
のれん	-	69	5年	'12年12月

(単位: 百万ドル)

JTインターナショナル	07年9月期	08年9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	147	213	主に20年
のれん	-	680	20年

(注: 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月)

2. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	47,042	53,461	6,418
国内たばこ事業	25,948	24,781	△ 1,166
除く輸入たばこ	16,735	15,987	△ 747
海外たばこ事業 ^(注1)	18,253	24,569	6,315
除く物流事業	16,494	21,967	5,472
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)}	15,142	18,056	2,913
国内たばこ事業 ^(注2)	5,509	5,268	△ 240
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	6,791	8,676	1,884
医薬事業	397	481	83
食品事業	2,277	3,477	1,200
飲料事業	1,504	1,451	△ 52
加工食品事業	773	2,026	1,253
その他事業	165	151	△ 14

(注1: 海外たばこ事業は、1-9月期の実績)

(注2: 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く)

3. たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
たばこ評価洗替差損益	△ 31	△ 31	-

(注: マイナス表示の場合は評価益)

4. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
販売費及び一般管理費	5,161	6,835	1,674
人件費 ^(注)	1,421	1,775	353
広告宣伝費	164	197	33
販売促進費	1,118	1,266	148
研究開発費	328	353	25
減価償却費	573	660	86
その他	1,554	2,582	1,027

(注: 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額)

5. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
全社EBITDA	4,862	5,413	551
営業利益	3,667	3,296	△ 371
減価償却費 ^(注2)	1,194	2,116	922
国内たばこ事業EBITDA	2,446	2,132	△ 314
営業利益	1,821	1,522	△ 299
減価償却費 ^(注2)	625	609	△ 15
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	2,171	2,973	801
営業利益	1,740	1,705	△ 35
減価償却費 ^(注2)	430	1,268	837
医薬事業EBITDA	△ 19	85	105
営業利益	△ 43	58	101
減価償却費 ^(注2)	24	27	3
食品事業EBITDA	90	57	△ 33
営業利益	56	△ 78	△ 134
減価償却費 ^(注2)	34	136	101
その他事業EBITDA	175	153	△ 22
営業利益	88	73	△ 15
減価償却費 ^(注2)	87	79	△ 7

(参考)

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	1,933	2,949	1,015
-------------------------------	-------	-------	-------

(注1: EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2))

(注2: 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費)

(注3: 海外たばこ事業は、1-9月期の実績)

7. 資本的支出

(単位: 億円)

	07年12月期	08年12月期	増減
資本的支出	844	850	5
国内たばこ事業	438	301	△ 137
海外たばこ事業 ^(注)	277	367	89
医薬事業	23	22	△ 1
食品事業	39	108	68
その他事業	78	49	△ 28

(注: 海外たばこ事業は、1-9月期の実績)

8. 手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	08年3月末	08年12月末	増減
手元流動性	2,188	2,608	420

(注: 手元流動性=現預金+有価証券+現金)

9. 有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	08年3月末	08年12月末	増減
有利子負債	13,892	10,833	△ 3,059

(注: 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金)

10. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	07年12月期	08年12月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,295	1,236	△ 58 億本
国内総需要	1,996	1,902	△ 93 億本
JT販売数量シェア	64.9%	65.0%	0.1%pt
JT千本当税込売上高	12,699	12,697	△ 2 円
JT千本当税抜売上高	4,057	4,057	0 円

(注: JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2007年12月期27億本、2008年12月期31億本。)

【海外たばこ事業】	07年9月期	08年9月期	増減
販売数量	2,740	3,429	689 億本
GFB販売数量	1,459	1,855	395 億本
連結円ドルレート	119.41	105.84	△ 13.57 円

【医薬事業】	07年12月期	08年12月期	増減
研究開発費(単体)	168	178	9 億円

【食品事業-飲料事業】	08年3月末	08年12月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	257,000	257,000	0 台
うちマーキング機	35,500	33,000	△ 2,500 台
うちコンビ機	71,500	76,000	4,500 台

(注: 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いつながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。)

2009年3月期 第3四半期決算データ集(2)

1. 2009年3月期連結業績予想(前回見込比較)

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
税込売上高	68,700	68,300	△ 400
EBITDA	6,340	6,380	40
営業利益	3,480	3,550	70
経常利益	2,900	3,020	120
当期純利益	1,600	1,380	△ 220
ROE(株主資本利益率)	9.3%	8.4%	-0.9%pt
フリーキャッシュフロー	2,290	2,470	180

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

	前回見込	今回見込	増減
当期純利益	2,640	2,430	△ 210

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
資本的支出	1,540	1,400	△ 140
国内たばこ事業	620	550	△ 70
海外たばこ事業	650	600	△ 50
医薬事業	35	35	0
食品事業	210	195	△ 15
その他事業	25	20	△ 5

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
税込売上高	68,700	68,300	△ 400
国内たばこ事業	31,690	32,020	330
除く輸入たばこ	20,520	20,630	110
海外たばこ事業	31,550	31,180	△ 370
除く物流事業	28,220	27,870	△ 350
医薬事業	545	560	15
食品事業	4,780	4,420	△ 360
EBITDA	6,340	6,380	40
国内たばこ事業	2,640	2,670	30
海外たばこ事業	3,340	3,380	40
医薬事業	10	30	20
食品事業	225	170	△ 55
営業利益	3,480	3,550	70
国内たばこ事業	1,800	1,830	30
海外たばこ事業	1,690	1,740	50
医薬事業	△ 30	△ 10	20
食品事業	△ 70	△ 110	△ 40
減価償却費	2,860	2,830	△ 30
国内たばこ事業	840	840	0
海外たばこ事業	1,650	1,640	△ 10
医薬事業	40	40	0
食品事業	295	280	△ 15

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前回見込	今回見込	増減
販売数量	1,590	1,600	10

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前回見込	今回見込	増減
販売数量	4,520	4,523	3
GFB販売数量	2,440	2,455	15
円/USドルレート	103.00	103.48	0.48

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	償却費算定の前提となるのれん金額	09年3月期償却見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	18,159	908	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	償却費算定の前提となるのれん金額	09年3月期償却見込	償却年数
加ト吉	450	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

2. 2009年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	64,097	68,300	4,202
EBITDA	6,020	6,380	359
営業利益	4,305	3,550	△ 755
経常利益	3,626	3,020	△ 606
当期純利益	2,387	1,380	△ 1,007
ROE(株主資本利益率)	11.8%	8.4%	-3.4%pt
フリーキャッシュフロー	△ 14,937	2,470	17,407

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

	前期実績	今回見込	増減
当期純利益	2,425	2,430	4

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,295	1,400	104
国内たばこ事業	572	550	△ 22
海外たばこ事業	484	600	115
医薬事業	42	35	△ 7
食品事業	60	195	134
その他事業	147	20	△ 127

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	64,097	68,300	4,202
国内たばこ事業	33,623	32,020	△ 1,603
除く輸入たばこ	21,692	20,630	△ 1,062
海外たばこ事業	26,399	31,180	4,780
除く物流事業	23,810	27,870	4,059
医薬事業	490	560	69
食品事業	3,364	4,420	1,055
EBITDA	6,020	6,380	359
国内たばこ事業	3,067	2,670	△ 397
海外たばこ事業	2,707	3,380	672
医薬事業	△ 62	30	92
食品事業	83	170	86
営業利益	4,305	3,550	△ 755
国内たばこ事業	2,223	1,830	△ 393
海外たばこ事業	2,053	1,740	△ 313
医薬事業	△ 96	△ 10	86
食品事業	6	△ 110	△ 116
減価償却費	1,715	2,830	1,114
国内たばこ事業	843	840	△ 3
海外たばこ事業	653	1,640	986
医薬事業	33	40	6
食品事業	76	280	203

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,677	1,600	△ 77

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	3,856	4,523	667
GFB販売数量	2,032	2,455	423
円/USドルレート	117.85	103.48	△ 14.37

主要投資案件の商標権償却費

JT

(単位:億円)

	08年3月期実績	09年3月期償却見込	償却年数
旧RJRI関連	293	293	10年

(注):商標権の償却終了は、'09年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	07年12月期実績	08年12月期償却見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	220	284	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407		

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073		

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2		

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9		

②セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	
2008年度	62.4	63.0	63.3		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8		

②セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	
2008年度	34.3	33.5	35.0		

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4		

②セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	
2008年度	21.7	20.7	22.2		

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04		

* ビアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2009年2月9日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GP（グリコーゲンホスホリラーゼ）阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を降下させる	
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	

前回（2008年10月30日）公表時からの変更点：JTT-654の国内臨床入り
JTT-552の開発中止